

四自連だより



安全・安心で
明るく住みよいまちづくり



これからの自治会活動について

四日市市自治会連合会

会長 高野 健



平成22年度、昨年に引き続き四日市市自治会連合会会長を務めさせていただきます、高野 健でございます。

平素は、自治会活動に種々ご尽力いただいておりますこと、この場をお借りし心からお礼を申し上げます。

近年、生活様式の変化や情報化の進展などにより多種多様な社会が求められ、行政に対する住民のニーズは、年々増加し、複雑多様化してきております。したがってすべてのニーズに行政のみで応えることは非常に困難な状況になっております。

そういった中、これからの社会は、市民の社会活動がまちを支える時代と考えられます。

誰もが生きがいを持って心豊かに安心して暮らせる地域社会を築くためには、行政サービスの充実はもとより、私たち一人ひとりが、自分たちのまちは、自分たちの手でつくるという意識を持つことが、とても重要であります。

“自助・共助・公助”の役割を明確にすることは、行政コストを抑えることにもつながります。

自治会という組織は、木に例えれば根っここの部分であり、この根っここの部分を強く、しっかりとしたものにするには、地域全体を、四日市を元気にしていくこととなります。

自助：自分の責任において、自分自身が行うこと。

共助：自分だけでは解決できない困難なことについて周囲や地域が協力して行うこと。

公助：個人や周囲、地域あるいは民間の力で解決できないことについて公共（公的機関）が行うこと。

難しく考えてしまいがちですが、私たちが生活しやすいように環境を整えていくために、非常に大事なことであります。

最後に、安全・安心・快適で住みよいまちづくりをしていくよう四日市市自治会連合会として更なる努力をしてみたいと思っております。

平成21年度自治会長大会

平成21年11月26日、四日市市文化会館にて、四日市市自治会長大会が開催された。

長年に渡って地域の発展と住民の福祉向上に尽くされた、68名のかたが、永年勤続表彰を受けられました。



《永年勤続表彰 自治会長》

勤続30年	楠 地 区	丑之新田自治会長	判野 元一	海 蔵 地 区	末永町二区自治会長	垣内 敏夫
勤続25年	常 磐 地 区	松本町一区自治会長	戸谷 貞造	羽 津 地 区	羽津町第二自治会長	藤井 明
勤続20年	橋 北 地 区	橋北地区連合自治会長	花村 誠	羽 津 地 区	別名第一自治会長	伊藤 光博
	県 地 区	あこず団地自治会長	大西 始	富 田 地 区	北魚町自治会長	橋本 正勝
勤続15年	常 磐 地 区	城北町自治会長	藤田 桂三	富 田 地 区	寺町自治会長	長谷川文雄
	共 同 地 区	諏訪町第一自治会長	八尾 誠	富 田 地 区	蛭子町自治会長	川村 一哉
	中 央 地 区	中央地区連合自治会長	中川 政之	富 田 地 区	東茂福町第一自治会長	渡邊 直雄
	神 前 地 区	上名ヶ丘自治会長	佐藤 房雄	富 田 地 区	茂福西ノ町自治会長	田中 宏昌
勤続10年	水 沢 地 区	水沢本町自治会長	森田 秀治	富 田 地 区	天力須賀南町自治会長	齋藤 則夫
	港 地 区	千歳町自治会長	藤村 昇平	富 田 地 区	蛭子町自治会長	加藤 昇
	富 田 地 区	西町第一自治会長	加藤 勝	富 田 地 区	東茂福町第一自治会長	渡邊 綽夫
	富 洲 原 地 区	富田一色北町自治会長	佐藤 昭博	富 洲 原 地 区	天力須賀北町第一自治会長	渡邊 綽夫
	四 郷 地 区	四郷連合自治会長	後藤 一夫	富 洲 原 地 区	天力須賀北町第三自治会長	川村 進
	四 郷 地 区	東日野町自治会長	伊藤 貞美	下 野 地 区	八千代台三丁目自治会長	川北 秀成
	日 永 地 区	前田町北部自治会長	溝川 紳一	桜 地 区	桜台中区自治会長	村上 貞
	塩 浜 地 区	磯津東町自治会長	今村 洋二	川 島 地 区	川島町東部自治会長	桂山 庄司
勤続 5年	塩 浜 地 区	磯津南町自治会長	森 紀四夫	川 島 地 区	川島町南部自治会長	後藤 三郎
	塩 浜 地 区	磯津北町自治会長	石田 博和	川 島 地 区	陽光台浮橋自治会長	林 建三郎
	共 同 地 区	元町二区自治会長	宮坂 弘二	神 前 地 区	神前地区連合自治会長	内田 幸輝
	共 同 地 区	諏訪町第二自治会長	山中 啓一	常 磐 地 区	伊倉二丁目自治会長	稲葉 久
	共 同 地 区	西浦一丁目第二自治会長	西尾 重郎	四 郷 地 区	高花平三丁目北部自治会長	奥村千年士
	中 央 地 区	沖の島町自治会長	川村 明次	小 山 田 地 区	小山田地区連合自治会長	萩 伸元
	中 央 地 区	北浜町一区自治会長	浅田 尅久	小 山 田 地 区	六名町自治会長	田中 寛雄
	中 央 地 区	北浜町三区自治会長	伊藤 正明	水 沢 地 区	水沢地区連合自治会長	堤 武
	中 央 地 区	北条町西部自治会長	恩田 稔	水 沢 地 区	西條町自治会長	清水 貞義
	港 地 区	北納屋町自治会長	波多野 通	日 永 地 区	大瀬古町自治会長	川瀬 忠男
	港 地 区	西末広町自治会長	寺井 勝	日 永 地 区	天白町自治会長	南川 征雄
	浜 田 地 区	北浜田町自治会長	西田 稔	日 永 地 区	中之瀬古町第三区自治会長	田中 資郎
	浜 田 地 区	新正町自治会長	加藤 正司	日 永 地 区	六呂見町自治会長	川村 良久
	浜 田 地 区	曙一丁目自治会長	黒宮 豊	日 永 地 区	泊塚原町自治会長	小池 儀作
	橋 北 地 区	川原町第一自治会長	長谷川守生	日 永 地 区	山崎町自治会長	坂 照明
	橋 北 地 区	新浜町西南自治会長	稲葉 茂	塩 浜 地 区	塩浜本町一・三丁目自治会長	伊藤 幹郎
橋 北 地 区	午起一・二丁目自治会長	鈴木 満	河 原 田 地 区	川尻町自治会長	萩 儀一	
橋 北 地 区	高浜・高浜新町自治会長	市川 明一	楠 地 区	幸町二区自治会長	中村 克義	
				楠 地 区	菊水園自治会長	石田 道明

四自連 活動の足跡

平成22年度四日市市自治会連合会 役員人事

会長：高野 健（日永地区） 副会長：中川政之（中央地区） 副会長：内田幸輝（神前地区）
 理事：奥村吉孝（港地区） 理事：味香祥平（羽津地区） 理事：市川善為（保々地区）
 理事：植田榮治（三重地区） 理事：萩 伸元（小山田地区） 理事：宮田 勉（河原田地区）

三重県自治会連合会 総会

7月16日（金）に三重県自治会連合会総会が鳥羽市で行なわれました。
 三重県自治会連合会に加入している市は、市町併せて14支部あり、総会の席で永年勤続の表彰があり、本市では下記の方が受彰しました。

【本年度の表彰者】

三重県知事表彰・同和地区 松本 光文
 三重県知事表彰・大矢知地区 伊藤 峯夫
 三重県共同募金会長表彰・富洲原地区 上古代 高
 三重県共同募金会長表彰・小山田地区 萩 伸元
 会長特別表彰・羽津地区（故）伊藤 一之
 会長感謝状・四郷地区 朝妻 泰孝

（敬称略）



こんなことやっています！

《橋北救急安心カード》

橋北地区連合自治会では、安心カードカプセルの設置を行っております。

《安心カードってなあに？》

安心カードは、プラスチックの容器にカードを入れて、冷蔵庫に保管し、冷蔵庫のドアに添付シールを貼ります。

ドアのシールによって救援者にカードの有無を知らせます。

ひとりで在宅中に具合が悪くなり近隣者に助けを求めたり、救急車を呼ぶときに安心カードにより医療情報を確認し、いち早く連絡をとることで適切な救護を行うことができます。

カードの情報は、年に一度見直しをするよう呼びかけます。



《容器に医療情報を記入した紙をいれる》



《冷蔵庫に容器をいれる》

～ 環境を守り、育てる ～ 川島地区環境パトロール隊発足

平成22年6月27日（日）「川島地区環境パトロール隊」の発足式が川島地区市民センターで行われました。

川島地区では、住民有志による環境パトロールを実施する一方、ポイ捨て防止の看板の設置やイベントなどで呼びかけを行ってきましたが、心無い不法投棄が減らないことから、さらに環境問題の取り組みを強化するため、川島地区住民31名によるパトロール隊を発足させることとなりました。

発足式には、県や市の不法投棄を担当する部署から来賓として参加され、行政と地域が連携して不法投棄防止に取り組んでいくことを確認しました。また、発足式のあと「環境パトロール」の黄色いステッカーをはった18台の車で地区内をパトロールし、環境保全の取り組みをPRしました。








▲隊員に激励の挨拶をする後藤隊長



パトロールに向かう軽四部隊

市長の政策懇談会

11月	4日(水) 八郷地区 19時～21時	「住民の生活道路と安全安心の住環境整備」 「サイクルパーク八郷」	
	6日(金) 保々地区 19時～21時	「保々の里地里山保全」 「農業・農村の振興」(農業に関するイベント・水田オーナー制度) 「健康で安心して暮らせるまちづくり」 「同和問題の解決に向けて」 「保々地区まちづくり構想策定に向けて」	
	9日(月) 楠地区 19時～21時	「合併協議の進め方」 「新市建設計画に基づくまちづくり」 「文化とスポーツによるまちづくり」 「住民主体のまちづくり」	
	24日(火) 橋北地区 19時～21時	「学校統廃合について ～東西橋北小学校統合に向けて～」 「地区都市マスタープラン決定書に伴う推進について」 「自主防災対策活動補助制度の増額と資機材購入緩和」 「ごみ問題」	
	25日(水) 川島地区 19時～21時	「環境問題」 「地域福祉活動」	
1月	8日(金) 富洲原地区 19時～21時	「共働きと育児について」 「海浜緑地公園の多目的公園への変換(富田一色地区の活性化に向けて)」	
	14日(木) 内部地区 19時～21時	「土地利用について」 「環境問題への取り組みについて」	
	22日(金) 水沢地区 19時～21時	「観光資源と地域活性化」 「茶の振興」 「地区市民センターを地域情報の集約、情報交換・発信の場に」	
	28日(木) 中部地区 19時～21時	「JR四日市駅周辺の活性化について」 「中央通り周辺商店街の活性化を促す一提案」 「同和地区内、三滝川右岸市場における高齢者交流について」 「地区内のJR関西線踏切及び道路整備について」 「リソな銀行跡地の活用について」	
2月	4日(木) 四郷地区 19時～21時	「少子高齢化する高花平の活性化」 「外国人市民との共生について」 「一人暮らしの高齢者への対応」 「自治会の地域社会づくり活動に対する支援など」	
	10日(水) 下野地区 19時～21時	「里山整備を中心とした環境整備について」 「人にやさしい下野のまちづくりについて」 「地区内の遺跡・史跡および歴史的資料・財産の保存、展示手段の確保について」	
4月	16日(金) 河原田地区 13時～15時	「公共下水道への接続」 「川尻町の浸水対策」 「生産緑地制度の問題点」	
5月	18日(火) 梶地区 13時～15時	「あがたまちづくり構想に対する市の対応について」 「きらら学園隣接空地の活用について」 「高齢者・障害者が安心して暮らせるまちづくりについて」	
	18日(火) 大矢知地区 19時～21時	「大矢知地区まちづくり構想について」	

各自治会の特色ある活動

中部【共同地区】

共同地区連合自治会長

会長 辻 俊 文

～共同地区としての街の活性化について～

我が地区は三滝川の南側、市立図書館より東へ市役所を含む一帯をエリアとしています。その中心地近鉄四日市駅、近鉄百貨店から東へ中心商店街が延びていますが、ご存知のごとく商店街のかつての賑わいはなく、死に瀕していると云っても過言ではありません。元気の良いのは中央通りをJR四日市駅まで続く楠の並木だけです。この楠の並木を何かに活用し、西の近鉄四日市駅と東のJR四日市駅の間での活性化を何とか促したいのです。

本来は、“各地区の特色ある活動”というテーマですが、今回は四日市市の中心市街地である共同地区の将来のまちづくりについて考えてみたいと思います。

例えば近鉄内部・八王子線を路面化してJR四日市駅まで延長し、あの軌道線巾を保持しつつ、全国からレトロの車輛を導入して走らせたり、春には花電車でもよかろう、冬には暖かい小型汽関車を走らせても面白いし、レトロバス（車輛兼用）でも面白い…。そして、JR四日市駅の2階部分を現在PR中の四日市名物とんてきレストランとし、（ここには複数のとんてき屋さんを招致して、その味とボリュームを競わせる。）集客力をあおぎ、1階部分は、市が借り上げてNPOに委託し若者から年配者向けに例えばクレープ、パン、ケーキ、アイスクリーム、たこやき、どらやき、ぜんざい、お好み焼きetcの店を開き、広場では、オープンカフェ、そして内部も利用できる……。

そういう風な商業活動はどうだろうかと日々想い提言いたします。



各自治会の特色ある活動

北部【大矢知地区】

大矢知地区連合自治会

会長 伊藤 峯 夫

防災とまちづくり構想にとりくむ自治会です。

素麺の町大矢知は、四日市市の北東部に位置し、近年は都市化してアパート等が増えてきており、人口19000人に近づいています。

しかしながら、従前の田園地帯も残っており、古い地域と新しい地域が混在しております。

就労世代の住居が増し、人口増加しているためか高齢化率は市の平均より低くそれぞれの望みも多様化してきており、新しくできた自治会と今までの自治会があるため自治会員の要望もまちまちであるのが現状です。

その中で一致を見ているものは、防災に関してではと考えます。当地区では毎年1回「大矢知地区自主防災協議会」主催の防災訓練が行われ、地区のリーダー的役割の方が参加して盛大に行います。

また、数年前から避難所、防災倉庫、危険箇所など、提示している「防災マップ」の検討校正を繰り返し、平成21年度中に各自治会から提出されました。各自治会においても詳細に検討加えてより良きものしていただきたい。

それと同様に「避難所運営マニュアル作成ワークショップ」を平成20年に研修したことから、今年度は実際の役割分担を決め、防災訓練を実施することにより身近に感じてもらうと考えております。

一方、産業廃棄物問題、北勢バイパスや久留倍官衛遺跡など住みよいまちづくりを考える上で、多様な問題を抱えておることから平成20年度から本格的に「大矢知地区まちづくり構想策定委員会」を組織して、実行部隊である「策定委員会部会」を同時に組織し、検討重ねて昨年度終わりに「大矢知地区まちづくり構想(素案)」でき、今年度は大矢知地区住民の意見募集を実施いたします。

整理後意見を反映し、より住民の目線の構想を策定したいと考えております。



▲ 防災訓練の様子

各自治会の特色ある活動

西南部【小山田地区】

山田町自治会

会長 矢田 義秀

休耕田に花を咲かせます

高齢化が進むと共に、荒廃状態の田が目立つようになりました。

昔のように豊かな自然環境を守り、美しい景観を取り戻そうと、自然を守る会の須藤芳治代表らが自治会や子供会など組織団体に呼び掛けみんなの力で見事な田に復活させました。

種まき作業には74人が参加。このほど2,500平方メートルにひまわりの種7キロを蒔きました。

3年前から農水省の農地・水・環境向上対策事業の一環として実施しているものです。

花が咲くと蝶々が飛び交い、田は一面の花畑となります。

春は、れんげと菜の花・夏はひまわり・秋はコスモスと年中見事に咲き誇っています。

これからも、360の全世帯が出会いにより、草刈りや水路清掃を続けて楽しい有意義な自治会活動に発展させたいと思います。



背丈まで伸びた草を刈るみなさん



みんなでひまわりの種を蒔きました



各自治会の特色ある活動

西部【三重地区】

三重地区連合自治会

会長 植田 榮 治

“誰もが安心して住み続けたいまち”をめざして

三重地区は旧三重村当時の集落を中心とした7つの集落（自治会区域）と2つの大規模団地といくつかの団地があり、三重北・小・西の各校区で構成されております。H22年7月1日現在、7,200世帯、人口17,900人となっております。地域の状況として道路や下水・公園などの生活環境については、比較的整備された団地に比べ、旧集落を中心とした地域は課題があります。

また、高齢者占有率は22.5%と高齢化と少子化が進み更に上昇傾向が予測されており、住民一人ひとりが自立した生活を送ることが出来るようにつとめ、みんなで自分達が住んでるまちを暮らしやすくする取り組みが急務です。このような地域状況の中、H18年より三重地区まちづくり構想策定委員会を設置し市民と行政がともに、まちづくりを進めてまいりました。

さらに、総合型地域スポーツクラブ“さんさん”を設立し健全育成に向けた地域の教育力の向上・健康ではつらつとした高齢者の増加、豊かな地域コミュニティの醸成をめざして頑張っております。

☆サークル数：36団体 会員：830人

そして、各校区へ目をみると 三重北校区ではI T関連製造工場やスーパーマーケットの物流拠点などが集積し日本の経済を担っていると思います。

三重小校区の歴史や文化については、前三重ふるさと散歩整備委員会が校区内の史跡を活用した史跡写生大会やゴミ拾いも兼ねた“ふるさとウォーク”を開催し、子どもを含めた多くの校区住民が参加しています。

昭和27年に国の天然記念物、昭和28年に市文化財にそれぞれ指定されている御池沼沢は、貴重な自然文化財として地元の自治会や中学校、自主活動グループが連携して整備活動を行なっています。

三重西校区では、城山は三重団地の象徴的な場所の一つで、しろやま倶楽部 の皆さんが中心となって毎月2回程度整備を進めています。

昨年より自治会との交流懇談会を重ね整備事業計画等の話し合いで、城山を校区のシンボルと位置付け、周辺住民や関係者が将来の方向性を話し合い、イラストを盛り込んだ整備計画を策定して、誰もが気軽に参加し、親しめる里山づくりを進めております。



山之一色町の雅楽



御池沼沢



城 山

最後に三重地区の本年度の3大行事の開催をお知らせいたします。

①三重地区自主防災会…総合訓練の開催H22年9月19日(日)
625名の参加予定

②三重地区文化祭…H22年10月30日(土)～31日(日)

③三重地区人権教育推進協議会…H22年11月14日(日)

講演会&ライブ 叶 麗子氏

* 通天閣の歌姫 NHKの連続テレビの実在モデル

各自治会の特色ある活動

南部【塩浜地区】

塩浜地区連合自治会
会長 伊藤 力

塩浜村 四日市市と合併80周年

塩浜地区は昭和5年に四日市市と合併して、今年80周年を迎えます。

歴史を振り返ると、当時の塩浜地区は現在の石油コンビナート一帯に田畑が広がり、春になると菜の花が咲き乱れ、秋になると黄金色の稲穂が頭を下げる、のどかな農漁村でした。その広大な田畑が四日市港と隣接する工業地帯としての



の開発の絶好の条件を備えており、県や市では、早くから工業地帯としての開発を計画しておりました。合併後の歴史は、太平洋戦争、東南海地震、コンビナートの建設ラッシュ、伊勢湾台風、そして公害問題とまさに激動の歴史を歩んできました。

塩浜地区連合自治会では、80年という節目の迎えるに当たり、先人の努力を受け継ぐと共に「豊かでさわやかな町しおはま」の発展を願い、この5月、塩浜中学校において80周年記念式典を開催しました。また、今年一年をかけて様々な記念事業を企画しております。



三浜小児童の合唱

この事業の特色として、企画段階からの企業の参画があります。コンビナート企業に隣接する塩浜地区としては、企業との共生は大きなテーマです。このようなイベントの他に、①塩浜地区関連事業所防災連絡協議会 ②塩浜街道を考える会 ③防災放送設備検討委員会 ④塩浜地区防災協議会に、企業も委員として出席し、ここに暮らす住民と企業活動に従事する者の立場をお互いに理解し議論を重ね、手を取り合っ、様々なりスクの軽減に努め、



塩浜音頭を披露し、大盛況

“安全・安心な快適なまちづくり”

を後世に引き継ぐことが塩浜地区連合自治会の使命だと考えております。

● 各自治会の行事予定 ●

中部ブロック

1月頃「女性セミナー」

中部ブロック婦人会企画（主催は中部地区市民センターになります。）
例年、音楽等文化に触れる会を開催していますが、今年度については検討中で内容は未定

2月頃「中部地区交流会」（仮称）

中部地区地域社会づくり推進会議主催
昨年より開催。中部地区内の文化交流の場。
サークルの展示・発表、地元ボランティアによる工作教室、地元食材を使った試食コーナーなど
中部地区人権協とセンターとの共催事業「人権コンサート」を同時開催。

東部ブロック

羽津地区文化祭

羽津地区こぞっての文化祭で、毎年、子ども連れのご家族やご友人仲間など、たくさんの方がご来場されます。

子どもたちや地区内で活動するサークルなどの作品展示のほか、舞台を使ってのダンスや舞踊、太鼓の演奏もあります。また、プロの演奏者なども参加します。



日時 11月14日(日) 午前9時から午後3時
場所 羽津小学校 体育館および周辺
内容 展示コーナー

- ・はづ子どもの作品展
 - ・サークルなどによる手芸、書道、陶芸、絵手紙、和紙細工などの作品
 - ・人権ポスター
- 舞 台
- ・保育園、幼稚園児による発表
 - ・地区で活動するサークルなどの発表
 - ・プロやアマチュアによる演奏など

その他

- ・お茶席
- ・森の工作教室（どんぐり、松ぼっくりなどを使ったオブジェ作り）
- ・子ども免許証の発行
- ・消防自動車の展示
- ・飲食物などの模擬店

羽津地区文化祭は、地元の方はもとより、他地区の方の参加も、歓迎いたします。

北部ブロック 保々地区

50年ぶり復活『子供相撲』

保々地区小牧町南にあった八坂神社境内——現在は子供公園——で1959年（昭和34年）まで行われていた花相撲の内、前相撲として実施されていた子供相撲が今年50年ぶりに復活することとなった。

この地には伊勢神宮常夜燈があることからこの花相撲は、別名燈籠相撲ともいわれ、明治6年に当時の伊勢が浜源吾親方より中野、小牧両村に万代までも相撲が許されて以来毎年神嘗祭（10月17日）に両村の力自慢や青年が参加し、行われていた。

当日は近在はもとより遠方からも花相撲見物に大勢が訪れ、大人も子供も見物や出店で買い物を大いに楽しんだものであった。

昭和34年の伊勢湾台風によりそれ以後中止されていた相撲であったが、最近の地域開発、住環境の変化により地区内での交流が薄れてきたことを危惧する声が多くなり、この度その交流の一環として先ず小牧町南自治会が中心となり、子供相撲だけを復活させることにしたのである。

興味ある方はぜひご来場を！

西部ブロック

◎三重地区自主防災隊“総合”訓練実施

当地区は広範囲と人口が多いため、校區別に防災訓練を実施していたが、本年度は3校区合同の訓練（研修）を実施し、非常時における連携を蜜にし、素早く対応すべく総合訓練を実施します。従って規模・内容等を各関係者各位の知恵を借りて実のある訓練にチャレンジしています。

◎自主防災隊総合訓練を成功させるため、下記計画（企画）を実施中です。

- 1 開催日時 平成22年9月19日(日) 8:00 12:00
- 2 場 所 三重小学校(グラウンド・体育館・家庭教室)
- 3 総合訓練準備会議開催『本番までに8回』
(第1回3月開始～4月・5月・6月×2・7月・8月・9月本番)
- 4 訓練内容 8項目
①避難所運営 ②初動伝達 ③開会式 ④炊き出し ⑤情報伝達 ⑥救急救護
⑦消火 ⑧放水7台(各町設置可搬式ポンプ)
- 5 各地区動員数と支援団体協力者数 総計625名
(①三校区動員数 570名 ②支援団体協力者数 55名)

◎これからの課題

過去に経験したことのない、大規模な防災訓練であるため、各種支援団体等の知識と技能を充分発揮して防災意識の高揚を図りたいと思います。

西南部ブロック

〔小山田〕ふれあいと心のかよう文化祭

11月6、7日 市民センター。作品展のほか、健康チェックやゲーム、あじごはん、みたらし、焼きそばなどバザーも大人気。

〔四郷〕鎌倉時代から続く大念仏

8月13日は東日野町から顕正寺へ。15日は西日野町から西覚寺へ。鉦・太鼓を打ち鳴らし寺へ練りこむ勇壮な行事です。

〔四郷〕笹川の夏祭り

8月14、15日の両日、午後7時から花火を打ち上げます。外国人の方も多く住んでおり共生のまちづくりを目指しています。

〔常磐〕防災運動会

10月24日常磐小で救助リレーや大声競争、炊き出し訓練など。楽しみながら防災意識を高め、地域のネットワークを深めます。

〔水沢〕もみじ祭り

11月下旬の1週間程度、もみじ谷とその周辺。オープニングは諏訪太鼓、宮妻音頭があり、ウォーク大会、模擬店やクイーン四日市を写す会があります。

南部ブロック

お月見コンサート・イン うつべ

内部地区では、文化向上と地域住民の交流を図るため、1996年に四日市市文化振興基金を活用して、第1回のハートフルコンサートを開催しました。

その後、1999年にはハートフルコンサート実行委員会が立ち上げられました。

2007年からは地区社会福祉協議会文化部の事業に位置づけられ、今年で5年目を迎え、お月見コンサートとして定着しています。

今年も、地域住民の交流を図ることを目的に、下記のとおり開催します。

采女城跡を背に、「マリンバ」演奏を聴きながら秋の夜長を楽しみをご一緒しませんか。

- 日 時 10月2日(土) 18時～19時
場 所 内部東小学校 体育館
内 容 マリンバトリオ「ジュテーム」の皆さんによる「マリンバ」演奏



ごみ減量リサイクル推進店発足

～みなさんのご協力に感謝～

この4月1日から新たなごみ減量施策として、「ごみ減量リサイクル推進店制度」を開始いたしました。

この制度は、レジ袋の有料化や簡易包装の実施など、ごみ減量やリサイクルに積極的に取り組む市内の小売事業者と協定を結び、「ごみ減量リサイクル推進店」として市民の皆さんにPRする制度です。

県内各市町では、ごみの減量施策の一つの手法として、レジ袋の有料化が進んでいます。本市でもごみの減量化は大きな課題ですが、レジ袋の有料化を主たる目的にするのではなく、レジ袋の有料化も含め、簡易包装の推進やその他の手法も取り入れ、総合的にごみの減量につながる取り組みを協定内容に盛り込み県内では初めてのモデルとなりました。

発足にあたりましては、「ごみ減量リサイクル推進協議会」を立ち上げ、参加事業者や商店連合会の方々と共に、連合自治会様にもご参加いただき貴重なご意見を賜りました。

平成21年11月に準備会を立ち上げてから、2回の協議会を開き、さまざまな議論がなされ3月に14事業者、8商店街との協定を結ぶことができました。

新たな制度を開始するには極めて短い期間でしたが、早朝、店頭や駅前でのキャンペーンを実施し、ごみ減量リサイクル推進店制度のPRを行ってまいりました。

このキャンペーンにも積極にご参加をいただき、おかげさまで大きな混乱も無く、スムーズに制度が開始できましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後、さらに多くの方々にご参加いただけるように進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【四日市市環境部生活環境課】

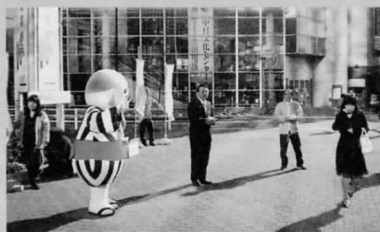
行政である生活環境課と、小売業者、市民が協働で行うことのできた活動でした。四自連はごみの減量に対するさまざまな取り組みを積極的に行いたいと考えております。今後とも力強いご支援をお願いいたします。



▲協定式



◀早朝、田中市長も駅前キャンペーンに参加



【編集後記】

今回は、今年後半の各自治会の行事やイベントの紹介をいたしました。地区のなかだけではなく、他地区のイベント等を知り、今後の活動の参考にさせていただければと思います。

《編集委員》

中部ブロック：辻 俊文	東部ブロック：味香 祥平
北部ブロック：市川 善為	西部ブロック：植田 榮治
西南部ブロック：萩 伸元	南部ブロック：宮田 勉

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
TEL・FAX 059-354-8287